

学びの質を高めるための調査研究 研究Ⅱ

研究主題

子どもが主体となり、学びが深まる・広がる授業づくり
～単元を貫く協働探究型課題を視点にして～

I 研究の概要

教育研究所では従来、子どもたちの自立の基礎となる学ぶ力を付ける調査研究を行ってきました。市内複数校の協力を得て行う実践的かつ実証的な研究です。

本年度は、研究に「協働探究型課題」を取り入れ、子どもたちが課題の解決に向けて、より意欲的に活動する授業について研究をしています。「協働探究型課題を取り入れた授業」とは、知識や技能を身に付けるだけが目的ではなく、それらを活用して日常生活の中で起こるいろいろな問題を解決するという過程を含んだ授業のことです。先生に知識や方法を教えてもらって覚えたり身に付けたりするだけの受け身の授業ではなく、ここでは、子ども達が進んで課題を解決していく過程で、必要な知識や技能を実感とともに身に付けていくことになります。そこには、個人だけではなく、学級の仲間と協働することも必要になり、まさしく「正解が一つではない諸問題に、周囲と協力して最適解を求めていく」というこれからの社会を生きる子どもたちに必要な力を身に付ける過程が含まれています。

実践事例（小学5年 算数「体積」）

協働探究型課題

古くなったメダカの水槽を新しく注文しようと考えています。
5年生のみなさんは、メダカを飼うためにどんな水槽が必要だと思いますか。メダカを飼うために必要なことを考えて調べ、グループで相談、決定したことをプレゼンにまとめて発表しましょう。
プレゼンには、水槽の大きさ、入れる水の量、重さを入れて、
〇〇先生やお店の人にもわかるようにまとめましょう。

学習の見通し
ゴールイメージ

体積を学ぶ
必然性
ができる

付けた力が
確かに身に付いた
と実感する姿



協働探究型課題を作成・実演する



※身についた力を活用する活動

学びを
日常生活と
結びつける

教科書・関連図書等
からの学び

II 研究の方法

1 学期

研究計画
推進委員会開催

授業実践

夏休み

指導案
検討会

2 学期

授業実践
授業研究会

研究のまとめ
紀要作成

3 学期

紀要発行
配布

III 研究の組織

専門委員	佐山小学校	校長	澤 明美	貴生川小学校	教頭	太田 千加子
研究推進委員	伴谷小学校	教諭	住田 真之介	水口小学校	教諭	佐々木 優衣
	貴生川小学校	教諭	秦 壮太	甲南第一小学校	教諭	藤 圭太
	水口中学校	教諭	木村 啓二			